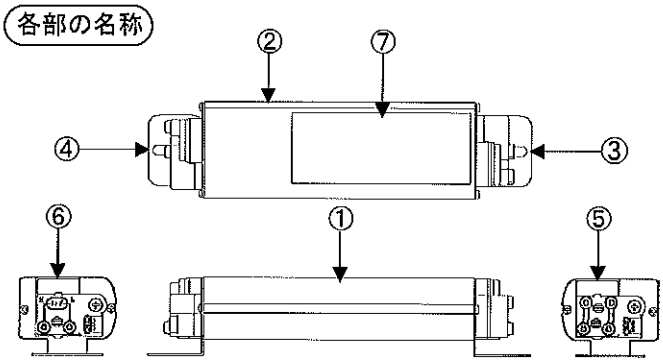
製品概要

安定器の種類	35W 用	70W 用	150W 用
型　番	K-1017NE	K-1018NE	K-1019NE
仕　様	100V/200V/242V 共用　50Hz/60Hz 共用		
電圧変動範囲	定格値±6% 94V～106V　188V～212V　228V～256V		
使用周囲温度	-5℃～45℃		
管灯回路配線長	2m まで		
適合ランプ	セラルクス 35W、HCI35W、CDM35W セラメタ 35W、セラメタプレミアS35W CMH35W	セラルクス 70W、CDM70W、セラメタ 70W セラメタプレミアS70W、HQI-T(S)70W HCI70W、CMH70W、MP・MT70W	セラルクス 150W、CDM150W セラメタ 150W、HQI-T(S)150W HCI150W、CMH150W、MP・MT150W

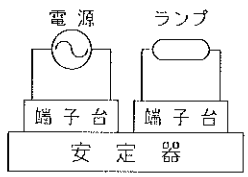
上表の使用条件を守って使用して下さい。間違えると安定器の短寿命等の原因となります。

各部の名称



①ケース(ボディ)
②ケース(放熱面)
③側面板、取付脚(入力側)
④側面板、取付脚(出力側)
⑤端子台(入力側)
⑥端子台(出力側)
⑦製品銘板

配線図



送り台数(容量)

	100V	200V	242V
K-1017NE	32 台	63 台	75 台
K-1018NE	18 台	35 台	42 台
K-1019NE	8 台	17 台	21 台

※入力側端子台の送り容量は、300V・20A です。
上記表の台数を超えない範囲で、
送り接続をすることができます。

安定器の取付

- 安定器は水平又は垂直でお使いください。また、屋外では使用できません。
- 取付前に安定器の重量に耐えるよう、取付部の強度を確認してください。
- 安定器を2台以上並べて設置する場合は、安定器の本体ケースの幅以上離して固定し、通風に注意してください。

安定器の配線

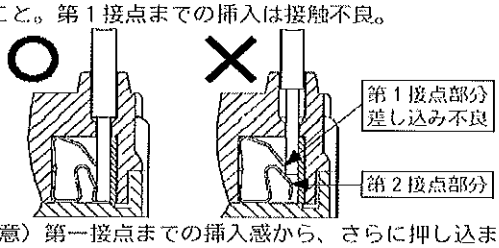
- ランプと安定器間の管灯回路配線長は、パルスの減衰を考慮し、"製品概要"の表の値以内としてください。
  この長さを越えますとランプが始動しないことがあります。
- 安定器のランプ側端子台と器具間の配線は、600Vビニル絶縁電線と同等以上の絶縁性能を持つ導体径 1.6 または 2.0mm の軟銅単線を使用し、本体の速結端子の指定位置に確実に差し込んでください。(被覆のムキ寸は、15mm 厳守)
  接続個所は圧着端子等によって結線後、確実に絶縁処理を行ってください。
- 安定器の送り接続台数は、"送り台数"の表の範囲内としてください。この台数を超えると端子台の焼損につながる可能性があります。

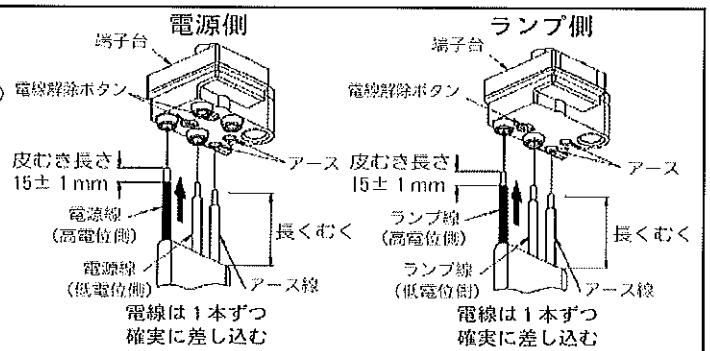
使用上のご注意

- 安定器の銘板に表示された電源電圧(変動範囲内)、周波数以外の電源で使用しないでください。
  安定器、ランプの短寿命の原因となります。
- ランプが不点の場合、約 20 分で高圧パルスは自動的に停止します。パルス停止機能が働いた場合は、
  一旦電源を切ってから再投入しますと、再び約 20 分間パルスがランプに印加されます。
- ランプ交換は必ず電源を切ってから行なって下さい。電源を入れたままでランプ交換してもランプは点灯しません。
- 落雷等による瞬時停電の場合は、パルス停止機能が働いたまま、復帰しないことがあります。
  その場合、電源を一旦切ってから電源を再投入してください。
- 電子安定器の場合、旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。
  この場合は高周波対応形漏電ブレーカをご使用ください。ご使用する場合には、感度電流の設定値にご注意ください。

⚠警　告(火災のおそれあり)

①端子台挿入穴に適合する太さの電線を使用すること。
(適合電線：φ1.6mm、φ2.0mm単銅線)
②指定の長さに被覆を剥くこと。(ムキシロ：15mm± 1 mm)
③1本ずつ確実に端子台の奥まで(第2接点まで)差し込むこと。第1接点までの挿入は接触不良。





(注意)第一接点までの挿入感から、さらに押し込まないと第二接点まで完全に差し込んだことになりません。
電線の被覆は、端子台内に 8 mm入ります。被覆部分が十分に入るまで差し込んで下さい。

ENDO メタルハライド灯用安定器(電子式)取扱説明書 保存用

このたびは、弊社安定器をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ず本説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後、大切に保存し、必要な時にお役立てください。裏面も必ずお読みください。

施工者様へのお願い

安定器の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
工事後、この説明書は必ずご使用者様にお渡しください。

施工者様及び使用者様への安全上のご注意

⚠ 警告 誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。

- 安定器は下記の使用環境、条件では使用しないでください。間違って使用すると感電、火災の原因となります。
  - ・周囲温度が常時 40℃以上の所
  - ・湿度が 85%以上及び水気のはね返る所
  - ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる所
  - ・振動、衝撃の激しい所
  - ・粉塵の多い所
- 安定器の構造を変えたり、ケースを開けたりしないでください。感電、火災、落下の原因となります。
- "高圧危険"ランプ始動のため、約5kVの高電圧のパルスが安定器のランプ側に発生しますので、活線作業をしないでください。電撃による感電、墜落等の原因となります。
- ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。
- 万一、煙、異臭など異常を感じたら、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。異常状態のままで使用すると感電、火災の原因となります。

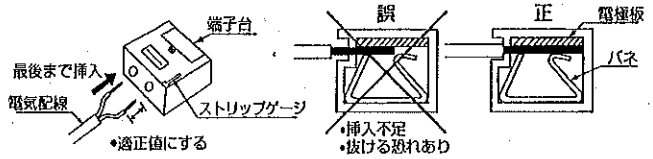
⚠ 注意 誤った取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。

- 安定器は、必ず適合するランプ(安定器の銘板に表示)と組合せてご使用ください。ランプの破損、短寿命、安定器の短寿命の原因となります。
- 布や紙、断熱材を安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。温度が高くなり、保護機能が動作したり、火災の原因となります。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります。湿気対策として定期的に通電してください。
- 安全に使用するため、3～5年に一回は工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら、交換してください。寿命末期(一般に寿命の目安は約 10 年)には異常発熱、発煙、発火の原因となります。

施工者様への安全上のご注意

⚠ 警告 誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。

- 湿気の多い所や水のかかる所には設置しないでください。
- 電線の絶縁体に刃物等による傷を付けないようにしてください。絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。
- 電気配線は端子台のストリップゲージに合わせて適切な寸法で被覆をはぎ取り、それぞれの線芯を平行にそろえ、端子台の挿入口に最後まで押し込んで下さい。→不十分ですと、焼損・漏電・感電・不点灯の原因となります。



- 安定器のランプ側を器具に接続しないままで放置しないでください。確実な絶縁処理をせず未配線のままで電源を入れますと、電線が焼損し火災の原因となります。
- 管灯回路内に中間ジョイントとしてコンセント等の接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災の原因となります。

⚠ 注意 誤った取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。

- 安定器の取付、配線は施工説明書に従い、結線は安定器の銘板に表示してある接続図通りに確実に行なってください。間違えて取付、配線をしますと、安定器の落下、焼損又はランプの不点灯、破損等の原因となります。
- 安定器は接地工事が必要です。入力又は出力電圧が 300V以下のものは、D種接地工事を、300Vを超え 600V以下のものには、C種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となります。
- インバータ式安定器を内蔵する器具を使用される場合は、インバータ対応用の高周波対応型ブレーカーをご使用ください。→未対応ブレーカーの場合、不要動作によりブレーカーが遮断される場合があります。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止	分解禁止	電源遮断	厳守	アース線接続

商品についてのお問合わせ

お問合わせは安定器の銘板に表示してある安定器の形式をご確認の上施工者、または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

人・光・未来形 株式会社 遠藤照明

この説明書は工事終了後、お客さまにお渡しください。